



山 端 美樹子  
(自民公明クラブ)

## 子供の権利の理解促進等のため リーフレットを作成する考えは

### 作成を含め効果的な方策を検討

**問** 子どもの権利条例の制定について、市の見解は。

**答** 平成25年に十和田市まちづくり基本条例を制定し、国が平成6年に批准した児童の権利に関する条約を踏まえ、子どもの権利等を定めています。

市では当該条例に掲げる理念を各種施策に反映し、取組を進めていることから、新たな条例の制定は考えていません。

**問** 子供の権利の理解促進や普及啓発のため、リーフレットを作成する考えは。

**答** 子供の権利の理解促進を図るため、リーフレットの作成も含め、効果的な方策を検討し、機会を捉えて普及啓発に努めていきたいと考えています。

**問** 「あそび防災プロジェクト」のように防災教育に遊びの要素を取り入れてはどうか。

**答** 災害による被害を最小限に食い止めるためには、子供たちの防災への興味を高めるような学校での防災教育が大切であると考えているため、今後も地域の関係機関と連携しながら取組を推進していきます。

**問** 公共施設へのWi-Fiの整備状況は。

**答** 19か所に設置しています。

**問** 他自治体ではフレイル予防にeスポーツを取り入れているようであるが、自由にパソコンやゲームを体験できる場を創出する考えは。

**答** 費用対効果の面から現段階で整備する予定はありませんが、健康増進をはじめとするDX推進ビジョンに掲げる各種取組を、他自治体の例も参考としながら、できることから着実に進めていきたいと考えています。



太 田 正 幸  
(立憲農民クラブ)

## 生涯学習講座を オンデマンド配信する考えは

### 講師等と調整のうえ実施を検討

**問** 子育て中や在学中の市民などへも学びの機会を提供する基盤を整備するため、生涯学習講座のオンデマンド配信をする考えは。

**答** 講師等と調整し、オンデマンド配信が可能な講座について実施を検討します。

**問** 若葉公園北側等の街路樹の伐採の経緯は。

**答** 大木化による歩道の損壊や大量の落ち葉などによる周辺住民の負担増加という問題が発生している地区があるため、良好な住環境を確保する目的で伐採しました。

**問** 伐採した本数分を植樹できないか。

**答** 近隣住民が負担を強いられることになるため、植樹する考えはありません。

**問** あらゆる産業が人材不足に陥り、採用競争の激化が予想される中、市民の生活を支える市役所が人材不足により公共サービスの低下を招くことを懸念している。人材確保対策は。

**答** 今年度は例年9月に実施している大卒程度を対象とした試験を6月に行い、10月に追加で行います。併せて年齢条件を緩和した社会人枠を設定し、人材の確保に努めているところです。

**問** 会計年度任用職員の人材確保対策は。

**答** 広報とわだによる募集やハローワークへの求人のほか、年度ごとの登録制として、欠員が生じた際には、登録者から任用しています。

**問** 見守りボランティアの不足や窃盗事件などの凶悪犯罪の増加が今後も懸念される。防犯カメラを増設するべきでは。

**答** これまで市内全ての小中学校などに設置してきました。今後も警察などと設置の必要性について協議していきたいと考えています。